

児童・生徒一人一人に、 危険を予測し、回避する能力を育てるために

様々な危険が子供たちを取り巻いている中、学校は、児童・生徒に危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力を育成するための、安全教育を推進する必要があります。

安全教育推進のポイント

- ポイント① 学校が「生活安全」「交通安全」「災害安全」の各領域ごとに、必ず指導しなければならない基本的事項を押さえる。
- ポイント② それらの基本的事項を、児童・生徒の発達段階に応じ、年間を通して意図的・計画的に指導する。
- ポイント③ 基本的事項の指導に当たっては、ねらいに即して、繰り返し指導し確実な定着を図る、体験的な活動を重視する、自ら考え判断することができる指導過程を導入するなど、その指導方法を工夫する。

本リーフレットの構成

ポイント①

必ず指導する基本的事項 → P2

ポイント②

必ず指導する基本的事項を意図的・計画的に位置付けた年間指導計画例

生活安全 → P4

交通安全 → P6

災害安全 → P8

ポイント③

「日常的な安全指導」→P10
注意事項の確認を短時間で行う
などの継続的な指導

「特設する安全学習」→P12
訓練や実習など体験的な活動
を取り入れた指導

「定期的な安全指導」
避難訓練など

「指導計画詳細例」→ P14

指導内容・方法などを詳細に示した指導計画例



1 必ず指導する基本的事項

【生活安全（防犯）】

区分	目 標	内 容
の登 安下 全校 時	登下校のときに起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に登下校しよう。 ・防犯ブザーを鳴らし、点検しよう。 ・登下校時、どこがどのようなときに危険か確認しよう。 ▼ 電車に乗るときは、痴漢・すり等に注意しよう。
の校 安内 全で	校内で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が定めた「不審者侵入時の緊急放送」を知ろう。 ・不審者侵入時にとるべき行動を確認しよう。 ▼ 防犯教室の目的を確認し、主体的に参加しよう。
家 庭 生 活 で の 安 全	家庭の内外で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・家に帰って玄関を開ける前に注意することを確認しよう。 ・留守番をするときの約束を確認しよう。 ・エレベーターに乗る前と乗るときに注意することを確認しよう。 ・非常階段や屋上など、人目につきにくい場所の危険について知ろう。 ・友達の名前や電話番号などを知らない人から聞かれても応じず、すぐに学校へ連絡すること。 ・携帯電話を使うときの約束を確認しよう。 ▼ 出会い系サイトにはかかわらない。ホームページに写真や電話番号等の個人情報を掲載してはいけない。
地 域 や 社 会 生 活 で の 安 全	地域・社会で起こる犯罪や危険について理解し、安全に行動できるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で行ってはいけない場所を確認しよう。 ・人通りの少ない道や街路灯の少ない場所など「入りやすく」「見えにくい」場所を確認しよう。 ・「いかのおすし」の約束を確認しよう。 ・「子ども110番の家」の場所を確認しよう。 ・夜間の外出で注意することを確認しよう。 ・歩きながら携帯電話やメールに夢中になると、注意がおろそかになるからやめよう。 ・事件や事故に遭ったら必ず保護者、警察、学校に連絡しよう。 ・犯罪等の現状を知り、安全な行動の仕方を確認しよう。 ▼ 地域の犯罪防止活動を知ろう。地域の安全における自分たちの責任と役割を考えよう。

【交通安全】

区分	目 標	内 容
の道 路 用 の 歩 行 と 横 断 及 び 交 通 機 関	道路の役割・きまりや道路における様々な危険について理解し、安全な歩行ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・道路のきまりと安全な歩行の仕方を確認しよう。 ・通学路の交通事情や通学方法に応じた安全な通学の仕方を確認しよう。 ・交差点の危険について知り、安全な行動の仕方を確認しよう。 ・雨や雪の日の安全な歩行の仕方を確認しよう。 ・明るい服装や反射材の効果を知ろう。 ・安全な集団歩行の仕方を確認しよう。 ・踏切事故の原因と非常ボタンの取扱いについて知ろう。 ・幼児や高齢者、障害のある人に対して、どのような配慮が必要か考えよう。 ▼ 公共交通機関利用時のマナーについて考えよう。

2 年間指導計画例

太線内の詳細な指導計画は→P14

【生活安全】日常生活に潜む様々な危険を理解し予測して、安全に行動ができるようにする。

校種・指導機会	4月	5月	6月	7月	9月	
小学校（低学年）	日常的・定期的な安全指導	・防犯ブザーの使い方 ・安全な給食配膳（学級活動）	学校や地域での安全な遊び方（帰りの会）	・「いかのおすし」の約束 ・プールの約束（帰りの会）	夏休みの安全な過ごし方（学級活動）	登下校の約束（帰りの会）
	特設する安全学習		遊具の安全な使い方（生活科）			
小学校（中学年）	日常的・定期的な安全指導	・防犯ブザーの点検 ・安全な清掃活動（帰りの会）	・家庭や地域での安全 ・遠足時の安全（帰りの会）	・「いかのおすし」の確認 ・プールでの安全（帰りの会）	夏休みの安全な過ごし方（学級活動）	通学路の危険箇所の確認（帰りの会）
	特設する安全学習			不審者に出会った時の対処の仕方（防犯教室・学級活動）		「子ども110番の家」探検（総合的な学習の時間）
小学校（高学年）	日常的・定期的な安全指導	・防犯ブザーの点検 ・学校生活での事故（帰りの会）	・家庭や地域での安全 ・移動教室時の安全（帰りの会）	・不審者への対応 ・水泳事故防止（帰りの会）	夏休みの安全な過ごし方（学級活動）	通学路の危険箇所の確認（帰りの会）
	特設する安全学習					
中学校	日常的・定期的な安全指導	・登下校時の安全 ・施設・設備の安全点検（帰りの会）	・犯罪被害の防止 ・部活動時の安全（帰りの会）	・不審者への対応 ・水泳事故防止（帰りの会）	・夏休みの生活と安全 ・熱中症の予防（帰りの会）	地域の祭礼への参加や協力（帰りの会）
	特設する安全学習					地域の犯罪被害の現状と安全な行動（学級活動）
高等学校	日常的・定期的な安全指導	・登下校時の安全 ・部活動と健康管理（下校前の指導）	犯罪被害の防止と対策（ホームルーム活動）	・不審者への対応 ・運動事故防止（下校前の指導）	夏休みの生活設計と安全（ホームルーム活動）	地域の安全における高校生の責任と役割（ホームルーム活動）
	特設する安全学習	性被害防止講座（防犯教室・学校行事）				

【日常的な安全指導】（帰りの会）

＜指導事項＞防犯ブザーを必要なときに使えるよう、定期的に点検する。

＜内容＞登下校のとき、みなさんの防犯ブザーはどこにありますか。すぐに使える所にありますか。確認してみましょう。

【定期的な安全指導】（学級活動）

＜指導事項＞夏休みの安全な過ごし方
＜内容＞安全な遊び場所を確認する。知らない人が何度も声をかけてきたときはどうすればよいのか思い出させる。「いかない・のらない・おお声を出す・すぐ逃げる・しらせる」を確認する。

必ず指導する基本的事項は、年間を見通して、指導時期を計画しておく必要があります。

ここでは、児童・生徒が犯罪被害に遭うことも少なくないことから、防犯を中心に年間指導計画例を示しています。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
不審電話への対応 (帰りの会)	日没が早まることへの対応 (帰りの会)	冬休みの安全な過ごし方 (学級活動)	エレベーターに乗るときの約束 (帰りの会)	電話を使うときの約束 (帰りの会)	地域での安全な過ごし方 (学級活動)
安全な遊び場を知る (学級活動)					
・不審電話への対応 ・簡単な応急手当 (帰りの会)	日没が早まることへの対応 (帰りの会)	冬休みの安全な過ごし方 (学級活動)	エレベーターの安全な利用 (帰りの会)	携帯電話を使うときの約束 (帰りの会)	地域での安全な過ごし方 (学級活動)
・不審電話への対応 ・応急手当の仕方 (帰りの会)	薄暮や夜間の安全 (帰りの会)	冬休みの安全な過ごし方 (学級活動)	エレベーターでの犯罪被害防止 (帰りの会)	携帯電話による犯罪被害の防止 (帰りの会)	地域での安全な過ごし方 (学級活動)
地域安全マップをつくろう (総合的な学習の時間)				携帯電話の危険について考える (学級活動)	
・個人情報の保護 ・応急手当の実際 (帰りの会)	・薄暮や夜間の安全 ・文化祭の取組と安全 (帰りの会)	年末・年始の生活と安全 (学級活動)	公共施設や交通機関の安全な利用 (帰りの会)	情報モラルについて (帰りの会)	地域での安全な過ごし方 (学級活動)
地域の犯罪防止における中学生の役割 (総合的な学習の時間)					
・個人情報の保護 ・体育大会時の安全 (下校前の指導)	・薄暮や夜間の安全 ・修学旅行時の安全 (下校前の指導)	年末・年始の生活設計と安全 (ホームルーム活動)	公共施設や交通機関の安全な利用 (下校前の指導)	情報モラルについて (ホームルーム活動)	地域での安全な過ごし方 (ホームルーム活動)
救命講習会 (学校行事)					

【特設する安全学習】(総合的な学習の時間)

<単元名>地域安全マップをつくろう

<単元のねらい>

- ・安全な場所、危険な場所の理由を考えながらフィールドワークを行い、地域安全マップを作製し「なぜ危険か、どうすれば安全か」について発表することにより、危険予測・回避能力を育成する。

<内容>

- ・危険な場所を知ろう ・危険な場所を考えよう ・フィールドワークをして、危険と思われる場所を確認しよう ・地域安全マップをつくろう ・発表会をしよう

年間指導計画例

毎月10日は、東京都交通安全日。
学校や地域の状況に即した交通安全活動を実施する。

【交通安全】 様々な交通場面における危険を理解し予測して、安全な歩行、自転車等の利用ができるようにする。

校種・指導機会	4月	5月	6月	7月	9月	
小学校（低学年）	日常的・定期的な安全指導	・通学路の確認 ・安全な登下校（学級活動）	道路のきまりと安全な歩き方（帰りの会）	雨の日の安全な歩行（帰りの会）	乗り物の安全な乗り方（帰りの会）	歩行者や自転車による交通事故（学級活動）
	特設する安全学習	春の交通安全運動への参加（学校行事）	交通安全教室「身近な道路標識」（学校行事）			秋の交通安全運動への参加（学校行事）
小学校（中学年）	日常的・定期的な安全指導	・通学路の確認 ・安全な登下校（帰りの会）	交差点の安全な横断（帰りの会）	雨や強風時の安全な歩行（帰りの会）	乗り物の車内での安全な行動（帰りの会）	自転車の通る所と安全な走行（学級活動）
	特設する安全学習	春の交通安全運動への参加（学校行事）				秋の交通安全運動への参加（学校行事）
小学校（高学年）	日常的・定期的な安全指導	安全な登下校と下級生の世話（帰りの会）	交差点で左折してくる車の危険（帰りの会）	雨や強風時の安全な歩行（帰りの会）	バスや電車内でのマナー（帰りの会）	自転車に関する道路標識（帰りの会）
	特設する安全学習	春の交通安全運動への参加（学校行事）				秋の交通安全運動への参加（学校行事）
中学校	日常的・定期的な安全指導	通学路の安全（帰りの会）	交通環境に応じた自転車の利用（帰りの会）	雨天時の交通安全（帰りの会）	交通事故の原因と事故の特性（保健・学活）	自転車等に関する基本的な交通法規（学級活動）
	特設する安全学習	春の交通安全運動への参加（学校行事）				秋の交通安全運動への参加（学校行事）
高等学校	日常的・定期的な安全指導	・通学時の安全 ・自転車通学登録（下校前の指導）	自転車事故の現状と安全な走行（ホームルーム活動）	雨天時の交通安全（下校前の指導）	交通安全講話（学校行事）	交通事故事例学習（下校前の指導）
	特設する安全学習	春の交通安全運動への参加（学校行事）			救命講習会（学校行事）	秋の交通安全運動への参加（学校行事）

太線内の詳細な指導計画は→P14

【日常的な安全指導】（下校前の指導）
〈指導事項〉自転車、公共交通機関の利用による通学時の安全な行動を確認する。
〈内容〉入学前に行う通学シミュレーションをもとにして、通学経路に潜む危険性に気づき、通学方法別のルールを確認する。

【定期的な安全指導】（ホームルーム活動）
〈目的〉自転車利用時の安全を確保するとともに、地域社会と共存するために必要なマナーを身に付ける。
〈内容〉全校生徒を対象に自転車利用のマナー講習と交通ルールの確認テストを行う。

必ず指導する基本的事項は、年間を見通して、指導時期を計画しておく必要があります。

児童・生徒の発達段階に応じて、安全な交通社会づくりの理解と参加に関する指導内容を設定してあります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路上での遊びの危険 (帰りの会)	夕方の安全な歩行 (帰りの会)	雪の日など寒い日の歩行 (帰りの会)	踏切の安全な渡り方 (帰りの会)	白杖や点字ブロックの意味 (帰りの会)	交通安全にかかわる人々 (帰りの会)
自転車での交差点の通行の仕方 (帰りの会)	薄暮や夜間の安全な歩行 (帰りの会)	道路凍結時の安全な歩行 (帰りの会)	踏切事故の原因と防止 (帰りの会)	白杖や点字ブロックの理解 (帰りの会)	交通安全に関する機関や団体 (帰りの会)
交通安全教室「自転車の点検と安全な利用」 (学校行事)					
自転車事故の責任と補償 (帰りの会)	薄暮や夜間の交通の危険 (帰りの会)	道路凍結時に起こる事故 (帰りの会)	踏切事故の原因と防止 (帰りの会)	交通事故が起きたときの対応 (帰りの会)	地域の交通安全活動への参加 (帰りの会)
	交通安全教室「明るい服装、反射材の効果」 (学校行事)			幼児・高齢者・障害のある人への配慮 (学級活動)	
交通事故の対応と応急手当 (保健・学活)	交差点の危険性の理解 (帰りの会)	気象や交通環境の変化と安全 (帰りの会)	踏切やホームの非常ボタンの取扱い (帰りの会)	加害事故の責任と補償 (帰りの会)	地域の交通安全活動の理解と参加 (帰りの会)
	カーブミラーの特性 (学級活動)				
・交通事故事例学習 ・応急手当 (下校前の指導)	交通事故事例学習 (下校前の指導)	交通マナー学習 (ホームルーム活動)	・冬季の交通安全 ・交通事故事例学習 (下校前の指導)	社会人としての責任 (下校前の指導)	これからの社会生活と交通問題 (ホームルーム活動)
交通安全ホームルーム (ホームルーム活動)		交通マナーアップコンテスト (学校行事)			

【特設する安全学習】(ホームルーム活動)

〈目的〉自他の違いに気付き、互いに尊重する心を育て、ルールを遵守する態度とマナーを身に付けさせる。

〈内容〉・幼児・児童や高齢者、障害のある人への配慮について考える。

- ・同世代でも個人差が大きいことを知り、適切な交通行動について考える。
- ・視覚の錯覚について学び、思い込みによる交通行動の危険性を理解する。
- ・学校周辺の危険箇所を知り、適切な交通行動を考える。
- ・交通安全のために自分にできることは何かを考え、発表する。

年間指導計画例

【災害安全】 様々な災害発生時における危険を理解し予測して、正しい備えと適切な行動がとれるようにする。

校種・指導機会		4月	5月	6月	7月	9月
小学校 (低学年)	日常的・定期的な安全指導	・地震発生時の対処 ・「おかしも」の約束 (朝の会)	地震を想定した避難訓練 (学校行事)	風や雨と安全な行動の仕方 (帰りの会)	天候に注意した遊び方 (帰りの会)	・地震のときの危険 ・安全な避難の仕方 (学級活動)
	特設する安全学習	災害発生時の通学路の危険箇所の確認 (学級活動)				総合防災訓練 (学校行事)
小学校 (中学年)	日常的・定期的な安全指導	・地震発生時の対処 ・「おかしも」の確認 (朝の会)	地震を想定した避難訓練 (学校行事)	風水害のときの危険 (帰りの会)	落雷の危険 (帰りの会)	一時集合場所、広域避難場所 (帰りの会)
	特設する安全学習			防災マップをつくろう (総合的な学習の時間)		総合防災訓練 「地震と安全」の活用 (学校行事)
小学校 (高学年)	日常的・定期的な安全指導	・地震発生時の対処 ・「おかしも」の確認 (朝の会)	地震を想定した避難訓練 (学校行事)	風水害時の安全な行動の仕方 (帰りの会)	落雷の危険 (帰りの会)	・「地震と安全」の活用 ・火山災害時の危険 (学級活動)
	特設する安全学習					総合防災訓練 (学校行事)
中学校	日常的・定期的な安全指導	・地震発生時の対処 ・避難経路の確認 (朝の会)	地震を想定した避難訓練 (学校行事)	台風接近時の危険と備え (帰りの会)	落雷等、気象災害発生時の危険 (帰りの会)	・「地震と安全」の活用 ・火山災害時の危険 (学級活動)
	特設する安全学習		・防災講話 ・防災館での体験活動 (学級活動)			地域総合防災訓練の参加 (学校行事)
高等学校	日常的・定期的な安全指導	・地震発生時の対処 ・避難経路の確認 (下校前の指導)	地震を想定した避難訓練 (学校行事)	台風接近時の危険と備え (下校前の指導)	落雷等、気象災害発生時の危険 (下校前の指導)	・「地震と安全」の活用 ・火山災害時の危険 (ホームルーム活動)
	特設する安全学習				救命講習会 (学校行事)	総合防災訓練 (学校行事)

太線内の詳細な指導計画は→P14

「日常的な安全指導」(帰りの会)

<指導事項> 一時集合場所、広域避難場所を知る。
<内容> 一時集合場所は、近所の公園や広場など集団避難を行うために、一時的に集合する場所です。大きな災害の場合は、広域避難場所まで行きます。広域避難場所への避難は原則的に集団で行います。

「定期的な安全指導」(学校行事)

<指導事項> 緊急地震速報への対応・安全な避難の仕方の実践
<内容> 1 緊急地震速報を冷静に聞き、安全な行動の仕方を想起し実践する。
2 校庭に避難する。「おかしも」の実践
3 人員確認・学校長の話・消防署の話

必ず指導する基本的事項は、年間を見通して、指導時期を計画しておく必要があります。

児童・生徒の発達段階に応じて、地域の防災活動の理解と参加に関する指導内容を設定してあります。

10月	11月	12月	1月	2月	3月
火災のときの煙に対する行動 (帰りの会)	緊急地震速報による避難訓練 (学校行事)	降雪時の安全な登下校 (帰りの会)	暖房器具の安全な利用の仕方 (帰りの会)	けがをしないために (帰りの会)	家の中の安全な場所 (帰りの会)
避難訓練(火災) 煙ハウス体験 (学校行事)					
火災のときの煙に対する行動 (帰りの会)	緊急地震速報による避難訓練 (学校行事)	屋根等からの落雪 (帰りの会)	火災の原因と危険 (帰りの会)	けがをした人を発見したときの通報 (帰りの会)	家庭での防災と点検・整備 (帰りの会)
避難訓練(火災) 煙ハウス体験 (学校行事)	地震から身を守ろう (総合的な学習の時間)				
火災発生時の心構えと119番通報 (帰りの会)	緊急地震速報による避難訓練 (学校行事)	屋根等からの落雪 (帰りの会)	火災の原因と危険 (帰りの会)	けがと応急手当 (保健・学活)	家庭での防災と家族との連絡 (帰りの会)
避難訓練(火災) 煙ハウス体験 (学校行事)			・防災館の見学 ・消火器の使い方 (学校行事)		
火災の特性と初期消火 (帰りの会)	緊急地震速報による避難訓練 (学校行事)	雪害と雪崩の危険 (帰りの会)	火災を想定した避難訓練 (学校行事)	原子力災害と安全対策 (帰りの会)	家庭・地域の防災 (帰りの会)
災害時に中学生としてできること (総合的な学習の時間)					
火災の特性と初期消火 (下校前の指導)	緊急地震速報による避難訓練 (学校行事)	雪害と雪崩の理解 (下校前の指導)	火災を想定した避難訓練 (学校行事)	放射線の身体への影響 (下校前の指導)	家庭・地域の防災 (下校前の指導)
	災害発生後の地域貢献 (総合的な学習の時間)				

「特設する安全学習」(総合的な学習の時間)

<単元名>地震から身を守ろう～自分たちにできること～

<単元のねらい>

- ・地震発生時の危険に気付くことができるとともに、正しい備えと自ら安全な行動がとれるようにする。

<内容>

- ・地震とは何か、どのような危険があるかを知り、自分で課題を設定し調べる。
- ・地震による被害を防ぐために、家庭や学校、地域ではどのようなことが行われているかを調べる。
- ・地震から身を守るために、また、被害を少なくするために自分にできることを考え、みんなで話し合い発表する。

3 日常的な安全指導 「児童・生徒にける日常的な一声の指導」

先生が「児童・生徒にける日常的な一声の指導」について

朝や帰りの会、給食の時間など、日常の活動を活用した安全に関する指導は重要です。

危険に対する知識や理解、自分の安全を守るための対処の仕方など、必ず知っておかなければならないこと。

児童・生徒の思考力や判断力を高め、予想される危険に対して適切な意志決定・行動選択ができるように考えさせること。

繰り返し児童・生徒に安全に関する一声をかけ、継続的、累積的に指導する。

一声の指導のポイント

- 児童・生徒にどのような力を身に付けさせるのか、一声指導のねらいを明確化する。
- 季節や学校行事、事件・事故の発生傾向等に照らして、どの時期にどのような一声をかけるのか、年間を見通して意図的・計画的に指導する。
- 学校生活の中で随時生起する安全上の問題について、必要に応じ適時・適切な指導を行うことができるよう、一声指導を蓄積し整理しておく。
- 指導に当たっては、「定期的な安全指導」や「特設する安全学習」との関連を重視する。

緊急時の対処法など「必ず知っておかなければならないことを確認するための一声」

予想される危険に対して「適切な意志決定・行動選択ができるように、かけられた声の意味を考えさせる一声」

【生活安全に関する一声の指導 例】

6月〇日	中学校 帰りの会
一声の指導内容	
<p>犯罪が起こりやすい場所のキーワードはなんでしたか？「入りやすく見えにくい」場所でしたね。意識して生活してください。もし被害に遭いそうになったら、大声を出して周囲に知らせなさい。そしてすぐ逃げなさい。警察への通報もすぐにしましょう。昼間でも被害に遭うこともありますから、警戒を怠ってはいけません。</p>	
時期（機会）	
学校周辺で不審者情報があったとき	
目的	
犯罪に遭わないための心得や不審者に遭遇したときの対処の仕方を確認する。	

【生活安全に関する一声の指導 例】

10月〇日	小学校 帰りの会
一声の指導内容	
<p>一人でお留守番をしているとき、知らない人から電話がかかってきて、クラスの友達の電話番号を教えてと言われたらどうしますか。知らない人から、友達の名前や電話番号を聞かれる電話がかかってきても「知りません」と言って教えてはいけません。どうしても教えてと言われたら、「学校に聞いてください」と言って電話をきりましょう。</p>	
時期（機会）	
近隣校で不審電話の情報があったとき	
目的	
電話番号等の問い合わせの電話を受けたときの対応の仕方を想起させ、確認する。	

【交通安全に関する一声の指導 例】

5月〇日	小学校 帰りの会
<p>一声の指導内容</p> <p>車の後ろのタイヤは前にあるタイヤより内側を曲がります。車が左に曲がるときは、はじめは車との距離があっても、だんだんとその距離が短くなってきます。左に曲がる車があるときや、交差点などでは、十分車からはなれて待つようにしましょう。また、後ろのタイヤにも十分注意を払いましょう。</p> <p>時期（機会） 5月の連休など交通量の増加時期</p> <p>目的 左折してくる車の危険について知り、安全な待ち方を理解する。</p>	

【交通安全に関する一声の指導 例】

11月〇日	中学校 帰りの会
<p>一声の指導内容</p> <p>カーブミラーはT字路などで見通しの悪さを改善する便利なものですが、見え方に特性があるのを知っていますか。ミラーには近い方が大きく映ります。また映らない死角があります。ミラーに小さく映っていたり、見えなくても、自動車や自転車は近くにいる場合があります。ミラーを見るだけでなく、必ず自分の目でも安全確認をしましょう。</p> <p>時期（機会） 薄暮が早まる時期</p> <p>目的 カーブミラーの特性について理解し、ミラーの効果的な活用の仕方とともに目視による安全確認を徹底させる。</p>	

【災害安全に関する一声の指導 例】

9月〇日	小学校 帰りの会
<p>一声の指導内容</p> <p>大きな地震で自分の家に住めなくなったときは、学校が避難所になります。万一に備えて、学校には、非常食や水、毛布、携帯トイレ、救急用品などが備蓄されています。家から避難所に移動する際は、電気のブレーカーをおとし、ガスの元栓を閉めて、鍵をかけて出ます。家族とはぐれたときは、ガムテープなどに自分の避難先を書いて家に貼っておくのもよいでしょう。</p> <div data-bbox="267 1458 720 1651" style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>家からの移動のポイントは？</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 電気のブレーカーをおとす！ ○ ガスの元栓を閉める！ ○ 鍵をかける！ 　　です。 </div> <p>時期（機会） 総合防災訓練の後</p> <p>目的 緊急時・災害時は学校が避難所になることを知る。</p>	

【災害安全に関する一声の指導 例】

11月〇日	中学校 朝の会 高等学校 ホームルーム活動
<p>一声の指導内容</p> <p>緊急地震速報を見聞きしたらどうしますか。速報から強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒です。その短い間に、身を守るための行動を取る必要があります。</p> <p>○授業中は先生の指示に従って机の下などにかくれる。○学校外での方が大勢いる施設では、係員の指示に従って落ち着いて行動する。あわてて出入口に走り出してはいけない。○電車やバスの中では、つり革や手すりにしっかりつかまる。</p> <p>突然揺れたときも行動は同じです。周囲の状況に応じて、あわてずにまず身の安全を確保しましょう。</p> <p>時期（機会） 緊急地震速報による避難訓練の後</p> <p>目的 緊急地震速報「利用の心得」を想起させ確認する。</p>	

4 特設する安全学習

特設して行う安全学習について

特別活動、総合的な学習の時間などで、安全に関する単元や学習課題を設定して行う指導は重要です。

訓練や実習などを取り入れ、体験的に理解した方がよいこと。

自分や他者の安全を守るための、よりよい対処の仕方など、じっくりと考えさせる必要があること。

思考力や判断力を高め、適切な意志決定・行動選択ができるように重点的に指導する。

特設する安全学習のポイント

- 児童・生徒の実態、学校や地域の実情に即して、当面する問題や近い将来の問題について、災害後のボランティア活動など具体的な行動上のことを取り上げる。その際、緊急時の対処方法などを身に付けることにとどまらず、安全な社会づくりに貢献できる資質・能力を育てるようねらいを設定する。
- 本学習の成果を一定期間の後に生かせるよう「日常的な安全指導」「定期的な安全指導」との関連や、各教科等との関連を十分に図る。
- 児童・生徒の主体的な活動を中心として、訓練や実習など体験的活動を重視する。
- 警察や消防など関係機関との連携を図る。

実践事例（「災害安全」高等学校）

「災害発生直後のボランティア活動」

- 1 教育課程上の位置付け
第1学年「総合的な学習の時間」 14時間扱い
- 2 単元のねらい
 - 大規模震災発生後の状況と避難所の機能や役割について理解する。
 - 震災後に高校生が参画できるボランティア活動を具体的に考え体験する。
- 3 指導計画
 - (1) 地震発生の仕組みと危険の理解（「地震と安全」を活用）(2h)
 - (2) 被災者の求める支援と地域防災活動の理解(2h)
 - (3) 防災活動の体験(2h)
 - (4) 震災後に高校生としてできることを考える。(4h)
 - (5) 災害発生直後のボランティア活動(2h)
 - (6) 避難所の機能や役割と自分たちとのかかわりについての理解(2h)
- 4 授業（上記3の(5)）の展開
 - (1) 導入
被災者の求める支援について想起し、自分たちにできることを確認し行動計画を立案する。
 - (2) 展開
 - 避難誘導路の表示 ○受付場所の開設
 - ビニールシートとペットボトルを利用した仮設休憩場所設営
 - 仮設トイレの設営
 - 負傷者搬送
 - (3) まとめ
ワークシートによる自己評価 計画に基づく活動の成果と課題の整理



実践事例（「交通安全」幼稚園・就学前の安全教育）

「家庭との連携を図り、小学校への円滑な接続を目指した交通安全指導」

1 教育課程上の位置付け

「健康」 60分で実施（事前に1回、親子での路上指導を実施）

2 活動のねらい

- 信号の意味、横断歩道の歩き方を知る。確認する。
- 信号や標識に気を付け、一人で道路を歩く。
- イラストや安全教育指導資料を見ながら、交通標識について関心をもつ。

3 活動の展開

(1) 導入

「止まれ」の標識、信号の意味、横断歩道の歩き方について警察官の話聞く。

(2) 展開

園の近くの道路を一人ずつ間隔をあけて歩く体験をする。

- 「止まれ」の標識（3か所）を意識して歩く。
- 信号を見て、横断歩道（2か所）を安全に渡る。
- 自転車や自動車に気を付けて安全に歩く。

(3) まとめ

- 今日の交通安全指導について話を聞く。
- イラストを使った安全教育指導資料を見ながら、道路標識について話を聞く。



実践事例（「生活安全」特別支援学校）

「携帯電話の適切な使い方を知ろう」

1 教育課程上の位置付け

総合的な学習の時間 3時間扱い

2 単元のねらい

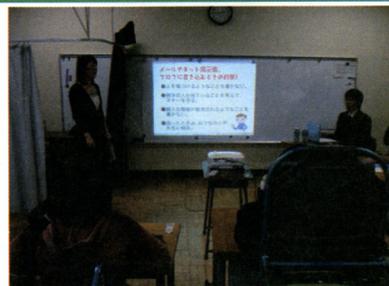
- 携帯電話の利便性と危険性の両面を知る。
- 携帯電話を安全に使うことができるルールとマナーを身に付ける。

3 指導計画

- (1) 携帯電話について知っていること、知らないことを整理し、学びたいことを明らかにする。(1h)
- (2) 外部講師から携帯電話の利便性と危険性について学ぶ。(1h)
- (3) 携帯電話の利用に関して、今後、自分が気を付けることを考え発表する。(1h)

4 授業（上記3(2)）展開

- 携帯電話の利便性、危険性についてのスライドを見る。
- スライドにある質問に各自が答える。
- 外部講師の講義を聞く。
- 知りたいことを質問する。
- ワークシートを使って本時の学習を振り返る。



5 指導計画詳細例

月ごとの指導計画例です。P4からの年間指導計画例の詳細例となります。

○…1単位時間の指導 ●…一声の指導

指導機会		7月
生活安全 (小学校例)	日常的な安全指導 定期的な安全指導	●犯罪が起こりやすい場所の確認 ●熱中症とその予防についての理解 ○夏休みの安全な過ごし方の確認
	特設する安全学習	
	教科等	地域社会における安全を守る工夫(社会) 野外観察時の安全な行動の仕方(理科) 安全なクラブ活動の仕方(クラブ活動)
交通安全 (高等学校例)	日常的な安全指導 定期的な安全指導	●校外行事での交通事故防止の確認 ●雨天時の交通事故防止の理解 ○交通安全講話(警察署と連携して実施)
	特設する安全学習	
	教科等	交通事故の防止(保健) 現代社会の諸問題(現代社会) 高齢者の心身の特徴と生活(家庭基礎)
災害安全 (中学校例)	日常的な安全指導 定期的な安全指導	●落雷しやすい気象条件と安全な行動の確認 ●津波による危険の理解と避難の仕方の確認 ●気象災害情報の活用の仕方の理解
	特設する安全学習	
	教科等	天気とその変化(理科) 水泳の事故防止(体育) 生命尊重(道徳)

日常的・定期的な安全指導に関する指導事項は生活指導の指導計画に、教科等との関連事項は教科等の指導計画に位置付けるなど、学校全体の指導の系統性・整合性を図る必要があります。

9 月	10 月
<ul style="list-style-type: none"> ●防犯ブザーの点検、使い方の確認 ●通学路の危険箇所の確認 ●登下校時の安全な行動の仕方の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ●不審電話の事例の理解 ●個人情報の重要性の理解 ●不審電話への対応の確認
<p>中)「子ども110番の家」探検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども110番の家」を探す ・「子ども110番の家」の人の話を聞く 	<p>低) 安全な遊び場を知る</p> <p>高) 地域安全マップの作製</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年に安全な遊び場を教える
<p>地域での安全を守る工夫（生活科）</p> <p>人々の安全を守るための諸活動（社会）</p> <p>公共心（道徳）</p>	<p>運動会でのけが防止（学校行事）</p> <p>けがの防止と簡単な応急手当（保健）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故事例学習 <p>二輪車と四輪車の事故の原因と対策の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ●秋の交通安全運動の重点事項の理解 	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故事例学習 <p>ヘルメット・シートベルト等の被害軽減効果の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ●止血法・包帯法の確認
<p>秋の交通安全運動への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲酒運転根絶ポスターを作成する ・警察署の街頭キャンペーンに参加する 	<p>交通安全ホームルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通法規と交通マナーを確認する ・幼児、高齢者、障害のある人への具体的な配慮について考える
<p>自由・権利と責任・義務（現代社会）</p> <p>刺激の受容と反応（生物Ⅰ）</p> <p>住生活の管理と健康（家庭基礎）</p>	<p>心肺蘇生法・応急手当（保健）</p> <p>法と規範（現代社会）</p> <p>高齢者の福祉（家庭基礎）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●地震発生時の安全な行動の仕方の確認 ●緊急地震速報受信時の安全な行動の仕方の理解 ○「地震と安全」を活用した安全指導 	<ul style="list-style-type: none"> ●有害な煙に対する行動の仕方の確認 ●様々な場面に応じた避難の仕方の確認 ●初期消火の仕方の確認
<p>総合防災訓練参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時避難訓練及び集団下校訓練を行う ・広域避難場所を確認し、避難所設営訓練を行う 	<p>「地震発生 ～その時何ができるか～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・震災を知る ・災害ボランティア体験を行い、中学生としてできることを考える
<p>火山と地震（理科）エネルギー資源（理科）</p> <p>自然災害（保健）</p> <p>地域の環境整備活動（生徒会活動）</p>	<p>応急手当（保健）</p> <p>室内環境の整備と住まい方（家庭科）</p>

年間指導計画の作成に当たって

●「日常的な安全指導」と「定期的な安全指導」との関連

学級活動や学校行事等で行われる安全指導は、安全の保持・増進に関する実践的な能力や態度の育成、望ましい習慣の形成を重視して実施することが必要です。そのために、朝の会や帰りの会等で実施する「日常的な安全指導」と、避難訓練や長期休業前後等で実施する「定期的な安全指導」の相互の関連を図り、繰り返し指導することにより、児童・生徒が自分の安全を守るために必要な危険に対する知識や安全な行動の仕方など、基礎的・基本的事項の確実な定着を図ることが重要です。

●「特設する安全学習」と「日常的・定期的な安全指導」との関連

危険を予測し回避するためには、安全に関する基礎的・基本的事項の確実な理解の基に、児童・生徒が思考力や判断力を高め、安全について適切な意志決定や行動選択ができるようにすることが必要です。そのために、「〇〇は禁止」などの規制する指導にとどまらず、「なぜ危険か、どうすれば安全か」について、自ら考え判断する指導過程を「日常的・定期的な安全指導」との関連を図って「特設する安全学習」等として位置付け実施することが重要です。

平成19年度安全教育プログラム開発委員会

分科会	学識経験者及び座長	推進校等	
生活安全部会	東京学芸大学 教授 渡邊 正樹	江東区立南砂小学校	八王子市立第一小学校
	文京区立誠之小学校 校長 米山 和道	墨田区立錦糸中学校	都立芝商業高等学校
交通安全部会	日本交通安全教育普及協会 主幹 石井 征之	足立区立伊興小学校	清瀬市立清瀬中学校
	足立区立伊興小学校 校長 五味田 稔	都立農業高等学校	
災害安全部会	日本女子大学 教授 石川 孝重	足立区立西新井第一小学校	府中市立府中第八中学校
	板橋区立志村第一中学校 校長 後藤 英一	都立足立新田高等学校	
総合部会 モデル校		江戸川区立船堀幼稚園	都立城南養護学校
		足立区立千寿本町小学校	

平成19年度安全教育プログラム開発委員会リーフレット

平成20年3月発行

編集・発行 東京都教育庁指導部指導企画課
〒163-8001
新宿区西新宿二丁目8番1号
電話03-5320-6836

印刷 山浦印刷株式会社
〒112-0014

文京区関口一丁目39番10号
電話03-3203-4721

東京都教育委員会印刷物登録

平成19年度 第160号